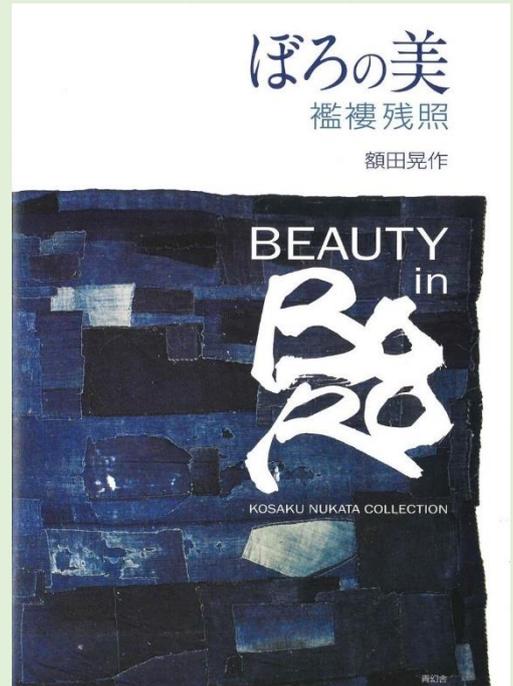


このごろ 思うこと (Ⅱ)

中西 卓@岡山

近頃思うこと で四国遍路の挫折を書いたのが何年か前で、その後も後追いを折々に考えてきましたが、テーマがフリーになったこの機会に日頃思っていることを述べます。語感を改め前回に続く付番でタイトルを変えました。

- ① ぼろの美 (副題 襤褸残照) : ずっしりと重い本が額田さんから届いた。著者ははじめに「この布たちは命を繋ぎ繋ぎ生きてきた。満身に傷を受け、時を経て、疲れ果ててる筈が、凜とした心と美を秘めている。」と述べる。35年前から襤褸と呼べる布を求め続けてこられた想いが伝わってくる。藍か草木染のようなくすんだ和の色調がベースであるが、その中で「中着」と「巻く」がテーマの3頁だけが朱~紅で明るくて心地よくて編集の気遣いに目が覚める。何れも容易に手にできない 愛しき、人類よ と並べて折々に眺めたいと思う。



- ② **News 7** : 去る 10 月から新聞の購読をやめたので毎夕 NHK の News 7 を見ているが、トップニュースが 火事や殺人事件の日が続く。更にコロナとウクライナの情報が常連である。自然災害の情報なら当然だが何故暗い話を優先するのか。考えようで日本は平和なのかもしれないが？ ついでに言えば、観るのは BSP が多いが大晦日の **帰らざる河** が抜群によかった。
- ③ **地殻変動** : 衆院選で 1 票の不公平を緩和するための 10 増 10 減で選挙区の区割りが変わった。岡山県は 1 減で赤磐市は従来の 3 区から 1 区に変わって、考えもしなかった岡山市北区など都市域と一つになる。議員ら当事者は大慌てだろうが私個人は歓迎だ。なぜなら、前回の衆院選で岡山は 5 区全部で自民が独占して、1 区は外務副大臣だった A 氏が圧倒的に強く、30 代半ばで新進気鋭の H 氏は比例でも復活できなかったのは同じ党の中堅議員が足場を固めているからだ。H は政治家を志す根っからの活動家で支持者の多くは様々な活動に参加する市民で、自分もその一人と思っている。「待てば海路の日和あり」はこのことか。

- ④ **高齢者保健福祉**：市役所から左記のアンケートがあって、心身の健康状態と介護の現状に答えたあと、自由記入欄に日頃思っていることを次のように書いた。『介護保険料が高すぎる。洒落た立派なホームが増えるのに、特養施設が増えず入るのも困難の現状に疑問を持つ。国の政策によると思うが、自治体の裁量もある筈だが如何。』見かけが立派なホームに入っていた故人（90半ばで新聞を購読していた）を3回訪ねたが、至れり尽くせりのサービスの一方で一旦入ったら出られない（外出さえも）、暗証番号の仕切り壁、現金を持たせず自販機もない。このホームが特例かもしれないが、人権無視を行政が黙視しているのか。

来月100歳になるシニアクラブ仲間を皆で祝うことになっている。息子がアメリカにいて、独り暮らしだがデイサービスも受けず、身辺も整然、まだ自動車を運転していて周りが免許返上を薦めても応じない。私のようなズボラがこんなにまで生きる筈もないが、現実になればどんな生き方、暮らし方をするだろうか？

- ⑤ **銃口**：三浦綾子の小説で時節柄不審な表題であるが、2次大戦中に育った私に遠くはない話の筋を追った。特高に追われる小学校教師、満州北辺での関東軍、朝鮮の抗日部隊、命からがらの逃避行など。強制労働の朝鮮青年をめぐる運命の出会いが核心であるが、主人公の人間愛が溢れている。巻末に、今回ほど多くの資料・話の提供を受けたのは初めてとある。暁の宇品の堀川恵子さんもそうであったが、女性作家の軍事への並々ならぬ関心に敬服する。



この拙稿を一読くださって、席上かメールでコメントいただければ幸いです。野口、清水ら諸兄には足下に寄れません。今後、過去の写真などを整理して及ばずながら投稿を続けたいと思っています。（終）